

1. 科目名 (単位数)	教育学概論 (初等・小) (2 単位)	3. 科目番号	EDTE1101
2. 授業担当教員	石崎 達也		
4. 授業形態	講義・演習	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	<p>本科目は教育という営みに深い関心を持ち、「教育とは何か」ということを考え始めている人に対し、教育(学)の基本的な概念と基礎理論について概括することを通して、受講者一人ひとりが、教育(学)の観点から今日の「子ども」を取り巻く環境の変化をふまえた「よりよい教育」のあり方を考える上で求められる基礎的知識の修得を目的とする。具体的には、主に小学校教諭になるための土台となる教育の基本的概念や理念にはどのようなものがあり、教育の歴史や思想において、それらがどのように現れてきたかについて学ぶとともに、これまでの教育及び学校の営みがどのように捉えられ、変遷してきたのかについて、受講者同士の対話をとおして理解を深めて行く。</p>		
8. 学習目標	<p>本講義は、本科目の目的を達成するために、以下の目標を設定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育のさまざまな側面に触れることで、各自のこれまでの教育概念を揺さぶり、それぞれが教育という営みを再考できるようになること。</li> <li>2. 教育に関する代表的な論考やアプローチから教育の射程の広さを学び、教育理解に関する柔軟さ、そして教育実践における覚悟と責任と寛容さを培えるようになること。</li> <li>3. ディスカッションや発表を通して、表現力やコミュニケーション能力の向上を図ること。</li> </ol>		
9. アサイメント (宿題) 及びレポ ート課題	<p>平常点 (毎回の講義内容に対するリアクションペーパーあるいは課題に対する小テスト・レポートの提出) と期末の課題提出による。 *詳細は初回に説明する。</p>		
10. 教科書・参考書・ 教材	<p>【教科書】 勝野正章・庄井良信『問いからはじめる教育学』有斐閣、2015年。 【参考書】 今井康夫『教育思想史』有斐閣アルマ、2009年。 牛渡敦著『教育学原論』中央法規出版、2008年。 江原武一・山崎高哉著『基礎教育学』放送大学教育振興会、2010年。</p>		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	<p>○成績評価の規準 1. 教育学の基本的概念・教育に関する歴史・思想を理解し、自分の言葉で説明できる力を身につけたか。(知識・理解) 2. 教育理解に関する柔軟さ、保育・教育実践に求められる態度・姿勢を身につけることができたか。(関心・意欲・態度) 3. 教育学に関する基本的な理論を理解した上で、教育という営みを再考することができるようになり、ディスカッションや発表を通して自分の意見を伝える力を身につけることができたか。(判断力・表現力) 以上の観点をもとに、下記の1～3によって評価する。 ○評定の方法 【授業への取り組み姿勢、授業内での課題提出、期末レポート等を総合して評価する。】 1. 授業への取り組み姿勢 (ディスカッションやグループワークへの積極的参加度) 総合点の30% 2. 授業内での課題提出 (小テスト・中間レポート等) 総合点の40% 3. 期末課題 総合点の30%</p>		
12. 受講生への メッセージ	<p>社会の変化とともに、「教師」に対する親や社会の期待はますます高まっている。そこで、教育現場における「教師」にとって、さまざまなニーズに対応するための「問題解決能力」「コミュニケーション能力」の向上が課題となっている。受講生の皆さんには、この授業の中では失敗や間違いを恐れず積極的に発言・発表すること、また同じ目標をもった受講生同士が協力して課題に取り組み、学び合うことを期待している。</p> <p>【学生に期待される学習態度】 受講生の皆さんは、上記のような目的を達成するために下記の内容に留意してほしい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 教師と受講生、受講生同士のコミュニケーションが学びの質を高める。グループワークには積極的に取り組み、課題意識をもって臨んでほしい。</li> <li>② 授業に臨むにあたって無断欠席、遅刻、早退、無断退出をしないこと。(欠席、遅刻、早退をした場合は、その理由を必ず教員に書面にて報告すること。正当な理由であっても、必要な時間数に不足する場合は不合格とする。)</li> <li>③ 明らかに授業態度が悪いと判断した際は、厳格な指導を行う。指導後も授業態度の改善が見られないと判断した場合、試験の答案内容如何にかかわらず、不合格とする。</li> <li>④ 授業中、私語、居眠りはしないこと。</li> <li>⑤ 授業中、使用の指示がない場合は、スマートフォン等の電子機器端末は電源を切っておくこと。</li> </ol> <p>【教員の心がまえ】 ① 授業の目的・目標を明確に示し、授業の進行はできるかぎりシラバスに沿って行う。 ② 受講生全員に伝わるような声で話をする。また専門用語を用いた際は、わかりやすく説明する。 ③ 一方通行の講義だけを行うのではなく、グループワークやディスカッションなどを取り入れながら受講生全員が意見を出しあえるような双方向対話型の学習環境をつくる。 ④ 遅刻・早退・授業中の居眠り、私語、携帯電話の使用、無断退出、その他、授業に臨むうえで不適切と思われる態度が見受けられた場合は、厳格に対処する。</p>		
13. オフィスアワー	講義の中で通知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	

第1回	ガイダンス 【あなたの「教育観」をみつめてみよう】	事前学習	シラバス及び教科書第1章に目を通し、教育のイメージをまとめてくること。
		事後学習	本講義の学び方について復習するとともに、他の受講者の意見から学んだことについてレポートすること。
第2回	教育の意義・目的(1) 【第1章 よい教育ってどんな教育?】	事前学習	教科書 pp.5~14 を読み、教育の原義、人間に必要な「教育」について自分の意見をまとめてくること。
		事後学習	教育に関する探求の手がかりに関して、他の受講者の意見をふまえ、自らの意見をまとめたレポートを作成すること。
第3回	教育の意義・目的(2) 【第2章 教育を社会の視点から考えてみよう】	事前学習	教科書 pp.15~25 を読み、教育の意義・目的・機能について自分の意見をまとめてくること。
		事後学習	欧米の教育の歴史と思想のポイント整理すること。
第4回	諸外国の教育の思想と歴史の変遷 【第3章 子どもという存在/人間という存在】	事前学習	教科書 pp.28~42 を読み、代表的な教育の思想家に関する調べ学習を行ってこよう。
		事後学習	教育学の「古典」を学ぶことの意味について、他の受講者の意見をふまえ、自らの意見をまとめたレポートを作成すること。
第5回	教育実践に関する歴史と思想(1) 【第4章 教え方は試行錯誤されてきた 教育方法の歴史】	事前学習	教科書 pp.43~57 を読み、教育方法の歴史に関する調べ学習を行ってこよう。
		事後学習	教え方の歴史を振り返り、これからの教育において、どのような教え方が求められるか、自らの意見をまとめたレポートを作成すること。
第6回	教育制度の思想と歴史の変遷 【第5章 教育を受ける権利】	事前学習	教科書 pp.58~70 を読み、義務教育や教育を受ける権利に関する調べ学習を行ってこよう。
		事後学習	あなたの身近にある子どもの権利に関する事例を取り上げてレポートを作成すること。
第7回	学校教育制度に関する歴史とその社会的機能(1) 【第6章 子どもの学びを支える仕組み】	事前学習	教科書 pp.71~85 を読み、公教育制度としての学校教育について理解してこよう。
		事後学習	今日の公教育制度としての学校教育について学んだことを他の受講者にわかりやすく説明できるレポートを作成すること。
第8回	学校教育制度に関する歴史とその社会的機能(2) 【第7章 子どもための学校ってどんな学校?】	事前学習	教科書 pp.88~103 を読み、「学校の役割」について、自らの意見をまとめてこよう。
		事後学習	「子どもための学校」について、他の受講者の意見をふまえ、自らの意見をまとめたレポートを作成すること。
第9回	教育実践に関する歴史と思想(2) 【第8章 学校では何を学ぶの?】	事前学習	教科書 pp.104~117 を読み、「教育課程」について理解してこよう。
		事後学習	「学校では何を学ぶべきか?」について、他の受講者の意見をふまえ、自らの意見をまとめたレポートを作成すること。
第10回	教師に関する歴史と思想(1) 【第9章 よい先生ってどんな先生?】	事前学習	教科書 pp.118~128 を読み、教員養成制度の歩みと教師の役割について理解してこよう。
		事後学習	「よい教師になるために求められていること」について、他の受講者の意見をふまえ、自らの意見をまとめたレポートを作成すること。
第11回	教師に関する歴史と思想(2) 【第10章 どんなふう子どもに接したらよいのか?】	事前学習	教科書 pp.130~144 を読み、教師と子どものよりよい関係について理解してこよう。
		事後学習	あなたの身近にある生徒指導に関する事例を取り上げてレポートを作成すること。
第12回	教育実践に関する歴史と思想(3) 【第11章 子どもがよく学ぶためには?】	事前学習	教科書 pp.145~160 を読み、自分が深く学んだと思われる経験についてまとめてこよう。
		事後学習	「子どもがよく学ぶために必要なこと」について、他の受講者の意見をふまえ、自らの意見をまとめたレポートを作成すること。
第13回	生涯教育・社会教育に関する歴史と思想 【第12章 学校を卒業したら学ばなくてもよいのか?】	事前学習	教科書 pp.161~171 を読み、生涯学習・社会教育の理念を理解してこよう。
		事後学習	身近な生涯学習・社会活動の実践に関するレポートを作成すること。
第14回	現代社会における教育課題 【第13章 教育と学校の未来はどうなるの?】	事前学習	教科書 pp.174~182 を読み、これからの教育のあり方について、自らの意見をまとめてこよう。
		事後学習	「未来に向けた教育のデザイン」について、他の受講者の意見をふまえ、自らの意見をまとめたレポートを作成すること。
第15回	ふりかえりと授業評価	事前学習	教科書、配布資料を読みなおし、これまでの14回の授業内容を振り返る。
		事後学習	授業内容を踏まえたうえで、理解が不足していた点を再度学習する。